

イケメン教師の受難

―伝説の運動会篇―

第六巻 極限のクラス対抗リレー

海老沢 薫 著

内容

■ 著作権について

■ まえがき

■ 第一章 全裸でクラス対抗リレー

■ 第二章 振り乱れるイケメン教師の巨根

■ 海老沢薫 B L O G

■ 海老沢薫 W e b 連載小説

※ 海老沢薫 B L O G

<http://kaoruebisawa.blog.fc2.com/>

・ ・ ・ 海老沢薫の最新作の出版情報や、そのほか各種コンテンツ情報などを配信。

■ 著作権について

「イケメン教師の受難——伝説の運動会篇——」

第六巻 極限のクラス対抗リレー」(以下本書と表記する)の著作権は「海老沢薫」にあります。

・ 本書のすべての内容は、日本の著作権法、及び国際条約によって保護されています。

・ 「海老沢薫」が事前に書面をもって許可した場合を除き、本書の一部、または全部を、あらゆるデータ蓄積手段(印刷物、電子ファイル、ビデオ、テープレコーダー)により複製、流用、転載、転売することを固く禁じます。

・ 著作権の侵害につきましては、著作権法第119条などの罰則がありますのでご注意ください。

い。

■ まえがき
 騎馬戦で大勢の男子生徒達にその逞しい体
 を陵辱され、大観衆の前で生き恥を晒したイ
 ケメン教師、三神真琴。
 真琴は休む間もなく次の競技である二年生
 のクラス対抗リレーにも、自分が担任するク
 ラスの助っ人として強制的に出場させられる
 ことになる。
 担任するクラスの生徒達の指示で真琴は第
 一走者、中盤、アンカーと一人で三度も走ら
 されることになり、またしても大観衆の前で
 極限の羞恥ショーの主演になろうとしていた
 リレーのスタートの合図が鳴らされ、イケ
 メン教師が剥き出しの股間のど真ん中で反り
 立つ肉帽を激しく振り乱しながら走り出すと
 応援席に座る生徒や保護者達は熱狂し、容赦
 ないヤジを真琴に浴びせた。
 「アハハッ、見ろよ、三神先生のチ○○めっ
 ちや揺れてるぜ！」
 「アレ絶対本気で走る気ないよな（笑）」

「教師がチ○○膨らませてリレーを走るなんて前代未聞だろ（笑）」

ああっ、恥ずかしい・・・こんな全部ウソだ・・・。

生徒達のヤジを聞いた真琴は激しい羞恥に襲われ、股間が痙攣して全力で走る事ができず、気がつけば一緒に走る他の生徒達にどんどん差をつけられダントツの最下位を走っていた。

「先生、チ○○振らずにもっと真面目に走れ！」

「このまま俺達のクラスが負けたらお仕置きだからな！」

担任するクラスの生徒達から檄が飛ばされる、真琴は羞恥を堪えて懸命に走ろうとするが・・・。

哀れなイケメン教師は、大観衆が見つめる中、底なしの羞恥地獄へ向かって突っ走ってイクのだった。

■ 第一章 全裸でクラス対抗リレー

クラス対抗リレーは、各クラスの生徒全員が校庭のトラックを半周走り、バトンを繋いでいく競技であつた。そして、真琴のクラスは生徒達は全員で入念に話し合いを重ね、走る順番を決めていた。

「先生、俺達絶対この競技に勝つから、本気で走ってくれよ！」

「先生のせいで負けたらお仕置きするからな！」

「恥とかプライドとか捨てて全力で走るんだぞ！」

真琴のクラスの生徒達は校庭に並ぶと、一人だけまだ恍惚とした表情を浮かべる担任教師に向かつて檄を飛ばした。

それから、真琴のクラスの生徒達は早速走る順番に並び直すと、クラス委員の相葉が真琴に走る順番を告げた。それによれば、真琴はなんと第一走者と真ん中辺りとアンカーのは

計三回も走ることになり、アンカーではトラ
ックを一周走らなければならぬのだった。
素っ裸のイケメン教師にとってそれはあま
りにも過酷であつたが、未だ射精の余韻に浸
つてゐる真琴にはその実感が全く湧いていな
かつた。
而して、ついに競技はスタートの時を迎え
真琴は早速第一走者としてトラックのスター
トラインに立った。
「オオッ、三神先生いきなり走るのか！」
「やべえ、めっちゃワクワクする」
「よっ、変態教師！」
応援席に座る生徒達は、素っ裸のイケメン教
師がいきなりスタートラインに現れると熱狂
し、大声でヤジを飛ばした。
ああっ、こんなの全部夢に決まってる、
運動会の競技で教師が裸で走るなんてありえ
るわけがない・・・。真琴はバトンを右手に
握りしめながら自分自身に何度もそう言い聞
かせていた。その大きく膨らみ反り立ったイ

チモツは激しく痙攣し、イケメン教師が羞恥に震えているのが生徒達には良く分かった。まったくいい気味だな・・。ベテラン男性教師はスタートの合図を告げるピストルを空に向かって高々と掲げながら、スタートラインに立つイケメン教師に向かって心の中でそう呟き掛けた。而して、スタートの合図が打ち鳴らされると、第一走者の生徒達は一斉に走り出し、真琴も少し遅れて走り出した。ちや揺れてるぜ！」「アレ絶対本気で走る気ないよなへ笑へ」「教師がチ○コ膨らませてリレーを走るなんて前代未聞だろへ笑へ」応援席に座る生徒達は、素っ裸のイケメン教師がイチモツを振り乱しながら全力疾走する姿を見ると大爆笑し、席を立ち上がって真琴にヤジを飛ばした。

あぁっ、恥ずかしい・・・こんな全部ウソだ・・・。真琴は生徒達のヤジが聞こえてくるとイチモツを激しく痙攣させ、必死に現実逃避しようとした。羞恥のせいで真琴は全力を出して走ることができず、一緒に走る他の生徒達にどんどん差をつけられて最下位を走っていた。

「先生、チ○コ振らずにもっと真面目に走れ！」

「このまま俺達のクラスが負けたらお仕置きだからな！」

担任するクラスの生徒達が檄を飛ばす声が聞こえてくると、真琴は死ぬ思いで足に力を込めて走った。

それでも、真琴は他のクラスの生徒達に五メートル以上の差をつけられて次の走者の生徒達にバトンを渡す事になり、担任するクラスの生徒達から厳しい目を向けられることになった。

全校生徒や保護者、同僚教師達が見つめる前で校庭を全裸で疾走した真琴は、激しい羞恥によって走り終わった後も暫く全身の震えが止まらなかった。
もうこんなのイヤだ……。真琴は今すぐにも校庭から逃げ出したかったが、まだあと二回もリレーを走らなければならず、憂鬱で仕方なかった。
それから真琴のクラスの生徒達は懸命に走ってバトンを繋ぎ、いつしか最下位から二位にまで浮上していた。そうして、再び真琴の走る順番が近づくと、素っ裸のイケメン教師は忍び寄る半端ないプレッシャーに今にも心が押し潰されそうになるのだった。

■ 第二章 振り乱れるイケメン教師の巨根

クラス対抗リレーが中盤に差し掛かると、真琴の担任するクラスは一位に肉薄するところまで迫っていた。そんな中、素っ裸のイケメン教師は再びトラックの中に入り、バトンを受け取る構えを見せていた。

「オオッ、三神先生また走るんだ！」

「そんなに自慢のデカ〇ンを俺達に見せたいのかよ」

「それじゃあ、またチ〇コ振り乱して走る姿を見せてもらおうじゃねえか」

素っ裸のイケメン教師が再び走ることが分かったと応援席に座る生徒達は席を立ち上がり、その勇姿をしっかりと見届けようとした。

而して、素っ裸で右手を後ろに差し出して構えるイケメン教師にバトンが手渡され、真琴は再び校庭を走り出した。一位の生徒とはほんの僅かの差で、真琴が本気で走れば十分に抜かせる位置にいた。

「先生、抜かせ！」
「先生、今度は全力で走らねえとマジ許さないからな！」
「先生、チ○コを膨らませている場合じゃねえぞ！」
真琴のクラスの生徒達は走り出した担任教師に檄を飛ばし、その姿をずっと目で追っていた。
ああっ、こんな恥ずかし過ぎる・・・。
応援席に座る生徒達の声援とヤジを浴びながら校庭を全裸で疾走する真琴は、激しい羞恥に襲われイチモツを痛いくらいに膨らませていた。そのため、またしても全力で走ることができず、一位の生徒からはどんどん引き離されていき、逆に三位以下の生徒達が背後から真琴に刻々と迫って来ていた。
「先生、このままだと抜かされてしまうぞ！」
「もつと本気で走れ！」
真琴のクラスの生徒達が必死に鼓舞しても、イチモツ丸出しで走るイケメン教師はあつと

いう間に三位以下の生徒達に追い越されてしま
まい、ここまで懸命に追いついてきたクラス
の生徒達の努力をすべて無駄にしていた
のだった。
ああっ、みんなゴメン・・。真琴は自分
を追い抜いていった生徒達の後ろ姿を見つめ
ながら、心の中でクラスの生徒達に謝罪した
生徒達のここまでの頑張りをお駄にし、しま
ったことは担任教師として痛恨の極みであつ
たが、やはりイチモツ丸出しの恰好では全力
で走るのは無理だった。
そうして真琴のクラスは再び最下位に沈
み、バトンは真琴から次の走者の生徒に渡さ
れた。
「オイ先生、いい加減にしろよ！」
「このリレーに勝てなかったら、先生にキツ
イお仕置きしてやっから覚悟しな！」
真琴のクラスの生徒達は、二回目の走りを終
えた担任教師に向かって罵声を浴びせると、
その剥き出しの尻をピシャツと平手打ちした。

「あぁっ」
真琴は尻を伝う強い痛み、苦悶の表情を浮かべ喘いだ。その様子を見た他のクラスの生徒達は意味深な笑みを浮かべ、羞恥に喘ぐイケメン教師を嘲笑った。
再び最下位に沈んだ真琴のクラスだったが、中盤から終盤にかけての生徒達が驚異的な追い上げを見せ、担任教師の失態を取り戻すかのように再び首位へ肉薄するところまで迫ろうとしていた。
そして、クラス対抗リレーはいよいよ終盤の佳境へと差し掛かり、アンカーを走る真琴の出番が刻一刻と近づいていたのだった。あぁっ、どうしよう、もう負けられない・・・
真琴は股間の中央で反り立つイチモツに半端ないプレッシャーがのし掛かるのを感じ、イチモツをピクンと痙攣させた。
「先生、もし俺達のクラスがこのリレーに負けたら、先生には罰としてこの後のマラソン競技にも出場してもらおうから！」

最後の出番を待つ担任教師に向かってクラス委員の相葉がそう冷たく言い放った。「そんな・・・」疾走直前に突然、非情な宣告を言い渡された真琴は激しく動揺し、すぐには心が追いつかなかった。確かこの後に控えているマラソン競技というのは、全学年全クラスの選抜された生徒達がトラックを五キロ走り順位を競い合うというもので、長い時間を要する競技であることから騎馬戦と並んで運動会の目玉となっていて種目だった。そんな競技に素っ裸のまま出場させられた途轍もない生き恥を晒すことになるのは目に見えており、真琴はイチモツがさらに硬くなるのを感じていたのだった。

■ 海老沢薫 B L O G

<http://kaoruebisawa.blog.fc2.com/>

・ ・ ・ 海老沢薫の最新作の出版情報や、そのほか各種コンテンツ情報などを配信。

■ 海老沢薫 Web 連載小説
『イケメン春輝 二十歳の憂鬱』

<https://regimag.jp/bo/book/detail/?book=31764>

・ ・ ・ 大学二年生の藤島春輝は、大学の学園祭のミスターコンテストに無理矢理エントリーさせられ、そのステータジ上で罨に嵌められ、大勢の学生達が見つめる前で死ぬほど恥ずかしい痴態を晒してしまう。それでも見事グランプリを受賞した春輝は、セレモニーとして一糸纏わぬ姿で大学のキャンパス内を練り歩き、他の学生達の見世物になったのだった。数日後、ミスターコンテスト実行委員会の学生から連絡を受けた春輝は、毎年恒例のグランプリ受賞者の記念写真集を製作する話を聞かされる。今年のステータジ上で前代未聞の痴態を披露した事からヌード写真集にすることが決まり、実行委員会の主要メンバーである須藤から脅され

た春輝は仕方なく撮影に応じることになり・・・。

後日、早速授業中の大教室で撮影をする。とになった春輝は、一番後ろの席で須藤に命じられるまま服や下着を脱いでいき、糸纏わぬ姿でポーズを披露する。

そうして撮影はだんだんエスカレートしていく、イケメン学生は授業中の大教室だけでなく、図書館や学生食堂でも極限の羞恥地獄を味わうことになるのだった。

『イケメン社長 聖哉25歳 | 体を賭けた
屈辱の取引 | 大型ショッピングモール編』

https://regimag.jp/bo/book_view/?book=18357

・ ・ 吉川聖哉は、大学生時代に起業した二十五歳の若き事業家だった。頭脳明晰で抜群のルックスを持ち、社交的な聖哉はまさにイケメン社長と呼ぶにふさわしい華やかさを備えていた。

大学生の頃には、将来有望な若手イケメン社長として一部のメディアでも取り上げられるなど、他人が羨むほど順風満帆な人生を送っていた。

しかし、いつしか聖哉の会社の業績は低迷し、華やかだった生活は次第に陰りを見せていく。

自分に付いてきてくれる社員のため、そして自分の理想のために会社を立て直すべく日夜必死に働き続ける聖哉。

かつて将来有望な若手社長としてもてはやされていたイケメン社長は、どんな泥臭い仕

事でも引き受けるようになり、心ない取引先
やユーザー達からの羞恥の命令にも従い、人
生を翻弄されていくのだった。

『イケメン社長 聖哉25歳 ― 体で償う屈辱のクレーム ― 会議室篇』

<https://regimag.jp/bo/book/detail/?book=38623>

・ ・ ・ 25歳のイケメン社長、吉川聖哉は大学生時代に起業し、若くして成功したカリスマ社長であつた。

しかし、聖哉の会社は次第に業績が悪化し倒産の危機に瀕する状況まで追い込まれていった。

そのため、聖哉は会社存続のために新たに人材派遣事業を興し、様々な企業と取引を始める。

そんなある時、聖哉の元に大口の取引先から一本のクレームの電話が入つた。

取引先の相手は電話越しに聖哉を激しく罵倒し、今すぐ自社まで謝罪に来るよう命じた。

ただでさえ倒産の危機に直面している会社は、この大口の取引先を絶対に失うわけにはいかず、慌てて謝罪へと向かう社長の聖哉。

而して、取引先の会議室へ案内された聖哉

の元に担当部長と現場責任者、そして問題を
起こした当事者である聖哉の会社の社員が現
れ・・・。
平身低頭に謝罪する聖哉に対し、取引先の
相手は誠意ある謝罪を要求し、あまりにも屈
辱的な命令を突き付ける。
社長としてのプライドだけでなく、一人の
人間としての尊厳までも奪われるような命令
に聖哉は憤りを覚えずにはいられなかったが
自分の会社や社員を守り抜くために彼らの命
令に従う覚悟を決め、ついに底なしの羞恥地
獄へと堕ちていくのだった。